

※この科目では対面授業を実施予定です。受講申込の際は「対面授業スケジュール」にて日程をご確認ください

授業科目名： **事業戦略構築論（石川）－社内起業コース－**

科目区分： 戦略・マーケティング（コア）

必修・選択の別： 選択

配当年次： 1年次

単位数： 2単位（学習期間 1学期）

担当教員： 石川 明

オフィスアワー（授業相談の受付）：

eラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

### 1. 授業の概要

企業の中で、自社が取り組むべき新規事業のテーマを決めていくための方法を学びます。

この授業で学んだことをベースに、2年次の「事業計画演習」で実際に各自で新規事業の企画を考え、事業計画書にまとめることになります。そのための基礎知識を習得することが目標です。

まず、会社の特性や事業を取り巻く環境を踏まえ、経営課題や事業拡張の可能性を考えます。

その上で、新たなビジネスチャンスがどこにあるかを考え、新規事業案を考えます。

新規事業案の検討にあたっては、受講生同士でペアを組み、相互にアドバイスをし合いながら、検討を進めます。

### 2. 学習目標

この授業で学んだことをベースに、2年次の「事業計画演習」で実際に各自で新規事業の企画を考え、事業計画書にまとめることになります。そのための基礎知識を習得することが目標です。

事業計画を詳細にまとめるところまでは行わず、新たなビジネスチャンスを探し、事業のアイデアを探るための糸口を見つけるところまでを目標とします。

評価は、アイデアの具体性や魅力だけではなく、そのアイデアに至った思考のプロセスを重視します

### 3. 授業計画

第1章：新規事業開発を学ぶことの意味

これからの企業人は、既存事業を管理し守り向上させるだけでなく、新たな価値を生み出す新規事業を考えることが求められます。そのためにどんな力を身につけておく必要があるかを学びます。

第2章：企業内起業と独立企業の違い

両者にはそれぞれの良さや難しさがあります。それを理解した上で企業内起業に取り組むときの留意点について学びます。

第3章：新規事業の種類

既存事業から発展させて新規事業を生み出す場合、様々な形態があります。それを理解しておくことで、自社がそして自分がどんな新規事業に取り組むべきかを考えます。

第4章：新規事業の発想法

新規事業を発想するにはどんな方法があるかを学びます。

第5章：魅力的な新規事業を企画するために

具体的な方法論を学ぶ前に、どんな視点で臨むべきか、どんなことに留意しながら検討を進めるべきか、その視点やスタンスについて学びます。

第6章：事業計画書とは何か

事業計画書にはどんな要素を盛り込む必要があるか、社内決済を通し実現していくためには、どんなことに留意しながら計

※この科目では対面授業を実施予定です。受講申込の際は「対面授業スケジュール」にて日程をご確認ください

画書を作成すべきかについて学びます。

第7章：事業計画書を書く①現状分析と検討の起点決め

自社分析、市場分析、顧客分析、競合分析など、何を起点に考えていくべきかを学びます。

第8章：事業計画書を書く②事業概要の仮設定

どんな市場に参入するか、どんな手法で参入するか、5W2Hで事業概要を考え、事業目標を仮設定します。

第9章：事業計画書を書く③事業戦略の考え方

SWOT分析、競争戦略、STP戦略など、ベーシックな戦略策定手法を学びます。

第10章：事業計画書を書く④戦術と実現方法の考え方

4P、4C、バリューチェーンなど、ベーシックな戦術策定の手法を学びます。

第11章：事業計画書を書く⑤実行計画・収支計画を立てる

販売計画、生産計画、人員計画、収支計画、資金計画など、計画策定のためのコツについて学びます。

第12章：事業計画書を書く⑥リスクとKFSを考える

どんなリスクを想定しておく必要があるか、そのマネジメントとKFSの考え方について学びます。

第13章：事業計画の評価

事業企画を検討するフェーズから、社内承認を取り事業化していくフェーズ、事業を立ち上げていくフェーズ、それぞれのフェーズにおける事業の評価ポイントについて学びます。

第14章：事業計画を立てていく上での留意点

社内を通し、立ち上げ後も事業として成果を出していくためには、どんな視点で事業計画を考えるべきかについて学びます。

第15章：企業における新規事業創出力

新規事業を生み出し続けられる企業であるためにはどんな組織であることが必要かについて学びます。

#### 4. 受講上の留意点

受講者同士でペアやグループを組んで、相互にインタビューをすることによって、互いの企業について理解しあい、互いの企業についての新規事業案を検討するように授業を進めます。掲示板等を使って積極的な授業参加をお願いします。

#### 5. 成績評価基準

出席(視聴1点+コメント1点)×15回=30点

※視聴点については各章の授業動画を指定された期間内に最後まで視聴した場合のみ、その章を「出席」とします

自社についてのレポート50点

ペアの受講生の企業についてのレポート15点

(2人以上の企業についてアドバイスレポートを書いた場合には最大加点5点)

但し、レポートの提出がない場合は単位取得は不可とする

#### 6. 必読書籍

新規事業ワークブック／石川明（綜合法令出版）

または、『はじめての社内起業』「考え方・動き方・通し方」実践ノウハウ／石川明（ユーキャン学び出版）

#### 7. 参考書籍

なし

#### 8. その他

特にありません